

議題2. 公共施設再配置の問題点について

- ① 老朽化による建替え対象となっている「一色給食センター」では、現行の 3,000 食を 9,000 食に設定しているが、積算根拠はどのようなか。
- ② 鶴城中など建替え時期が近い学校や幡豆給食センターの代替も含めての食数なのか。この際、みな含めてしまおうということでは必要以上の食数拡大にならないか。
- ③ PFI 事業で給食センターがペイするのは、一般的に 1 万食ときくがどうか。市長は、同センターによる高齢者配食サービスも範疇と考えているのか。
- ④ 今回の PFI 事業では民と官のリスク分担は同等というが、給食センター事業においては、最終的には市の責任となるのではないか。
- ⑤ 一色支所跡に建設予定の市営住宅は 90 戸が予定されているが、市として家賃体系、入居対象者はどのように考えているのか。
- ⑥ 廃止される対米・巨海住宅の現入居者（134 戸）はどのように処遇されるのか。
- ⑦ 給食にしても市営住宅にしても、プロジェクトの中で各担当課の関わりが見えないがどうか。このような状況のまま進めるのか。
- ⑧ 本プロジェクトによって 100 名程度の職員が「配置転換」になるというが、具体的に定員適正化に反映できる効果なのか。人員削減にはならないということか。

議題2. 公共施設再配置の問題点について